学校番号	１１６

令和２年度　数学科

教科	数学科	科目	数学Ａ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	数学Ａ　Ａｄｖａｎｃｅｄ　（東京書籍）						
副教材等	Ｈｉ－ＰＲＩＭＥ数学Ｉ＋Ａ（東京書籍）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して自ら考える活動と周囲と協力して考える活動に取り組みます。
・「課題を理解する→結果を予想する→解決の構想を持つ→解決する→より良い方法を考える」を連続した過程として、それぞれの考えを発表することや議論することも取り入れます。
・問題集用のノートを授業用のノートと別に用意しなさい。
・指示された問題集の問題を自分で解いていきなさい。高校では答えが出せるかどうかと同等にどう考えたか、どこまで考えられたかが重要です。途中式や求め方も書くようにしなさい。
また、答え合わせを必ずしなさい。どこで間違ったのかを知ることも大切です。
・問題集用のノートは定期的に提出してもらいます。
時間をかけてていねいに取り組むことが、数学を理解するために必要な姿勢です。
・学習の予定は順序を変更する場合や、進度を早める場合があります。

２　学習の到達目標

・各単元において、基礎的な知識と処理技能の習得を目指し、数学的な見方や考え方の良さを認識できる力を育成する。さらに、その知識・技能・考え方をあわせて活用する態度・能力を身につけることを目標とする。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:数学的な見方や考え方	c:数学的な技能	d:知識・理解
観点の趣旨	学習する各単元において考え方に関心を持つとともに、数学の良さを認識し事象の考察に活用しようとするか	さまざまな事象を数学的に考察し、表現したり多面的に考えたりすることを通じて、数学的な見方や考え方を身に着けているか	各単元において事象を数学的に表現・処理する方法の技能を身につけているか	各単元において基本的な概念、原理・法則等を体系的に理解し、身に着けているか
評価方法	小テスト 課題提出 レポート その他観察等	小テスト 定期テスト 課題提出 レポート その他観察等	小テスト 定期テスト 課題提出 レポート その他観察等	小テスト 定期テスト 課題提出 レポート その他観察等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	場合の数	集合の要素の個数			○	○	a:不確定な事象を数学的にとらえることの有用性を認識し、具体的な事象の考察に活用しようとするか。 b:順列・組合せなどの場合の数の求め方を身につけることができるか。 c:具体的な事象の起こり得る場合の数を順列や組合せの考えを用いて表現することができるか。 d:和の法則、積の法則、そして順列・組合せの考えを理解して、場合の数を求めるための知識を身につけているか。	小テスト 定期テスト 課題提出 レポート その他観察
		樹形図と場合の数	○		○	○		
		順列	○	○	○	○		
		組合せ	○	○	○	○		
		事象と確率	○	○			a:「同様に確からしい」など確率の定義を考察しようとするか。 b:順列・組合せなどの場合の数の求め方を身につけ、具体的な事象の確率を考察することができるか。 c:起こり得る場合の数を順列や組合せの考えを用いて表現し、確率の基本性質を活用し、確率を求めることができるか。 d:和の法則、積の法則、そして順列・組合せの考えを理解して、場合の数を求め、それから確率を求めるための知識を身につけているか。	
		確率の基本性質			○	○		
二学期	整数の性質	約数と倍数	○	○			a:整数の性質について興味関心をもち、それを考察に活用しようとするか。 b:素因数分解の方法を身につけ、様々な方法で整数の性質を考察できるか。 c:整数の性質から約数の個数、最大公約数や最小公倍数を求められるか。 d:公約数や公倍数を求める方法を理解し、知識を身に付けているか。	小テスト 定期テスト 課題提出 レポート その他観察
		最大公約数と 最小公倍数	○	○				
		除法の性質と 整数の分類			○	○	a:整数の性質について興味関心をもち、それを考察に活用しようとするか。 b:ユークリッドの互除法を身につけ、様々な方法で整数の性質を考察するか。 c:整数の性質を用いて、二元一次方程式の整数解を求め、文字を用いた式を解釈することができるか。 d:整数における数の表示や計算についての知識を身に付けている。	
		ユークリッドの互除法		○	○	○		
		二元一次不定方程式		○	○	○		

二学期	図形の性質	三角形と比	○	○			a:三角形の図形の性質に関心をもち、その有用性を認識し、活用しようとするか。 b:図形の見方を豊かにし、性質を見出し、理論的に考察することができるか。 c:図形の性質が理論的に正しいことを的確に表現することができるか。 d:図形の性質を系統的に理解し、基礎的な知識を身に付けているか。	小テスト 定期テスト 課題提出 レポート その他観察
		三角形の重心・外心・垂心・内心		○	○			
		三角形の比の定理		○	○	○		
三学期		円周角の定理	○	○	○		a:円の図形の性質に関心をもつとともに、その有用性を認識し、問題の解決に活用しようとするか。 b:図形の見方を豊かにするとともに、図形の性質を見出し、理論的に考察することができるか。 c:図形の性質が理論的に正しいことを的確に表現することができるか。 d:図形の性質を系統的に理解し、基礎的な知識を身に付けているか。	小テスト 定期テスト 課題提出 レポート その他観察
		円に内接する四角形	○			○		
		接線と弦の作る角		○	○	○		
		方べきの定理	○		○			
		2つの円	○	○				
		基本的な作図		○		○		
		長さの作図		○		○		
		直線と平面		○	○	○		
		多面体		○	○	○		

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:数学的な見方や考え方
c:数学的な技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。